

独立行政法人大学評価・学位授与機構が行う短期大学機関別 認証評価について（報告）に対する各関係団体等からの意見

短期大学機関別認証評価実施大綱（案）に対する意見

大綱全体に係る意見

- ・ 良く出来た案だと思います。私は、実施可能ではないかと考えます。ただ、資料の用意のために、教職員が膨大なエネルギーを使わなければならないようなことは避けていただくようご配慮下さることを願います。できれば、フォーマットを作っていただき、こちらで、簡単に書き込みできるようなものが、できるのでしょうか。

「 評価の基本的な方針 」に係る意見

- ・ p1の（1）の「・・・は、機構の設定する短期大学評価基準に基づき・・・評価を行います。」とあるが、小規模な公立短期大学にとっては、教職員数からみて、内容の数が多すぎて対応できないのではないかと。もっと重点化・簡素化が必要であるように思われる。どこをどのように重点化、簡素化することになるのか。
- ・ 近年の各種基準が改定され、かつてからやや不分明であった四年制大学の学部教育と短期大学の教育目的・内容の性格の違いがますます希薄化しつつある中で（特に準学士や専攻科の設置がクローズ・アップされている現状を考えると）短期大学のために別の評価基準を設定する必要があるのか、との疑問を懐かされる。短期大学が現在趨勢となっている動きを今後も強めるなら、単に修業年限の短い四年制大学として評価すれば充分ではなからうか。

「 評価の実施体制等 」に係る意見

- ・ 本学が実施している自己評価報告書と今回提示の自己評価報告書案とはかなり隔たりがあり、自己評価担当者に対する研修を十分実施して戴きたい。p2の大綱では、「評価担当者（評価員）が共通理解のもとで公正適切かつ円滑にその職務を遂行できるよう、短期大学評価の目的、内容及び方法等について十分な研修を実施します。」となっているが、いつから、どのくらいの期間、どんな方法で実施するのか。
- ・ 資料をざっと見た限り、よく検討された案であると思います。資料に記載されているとおり、評価担当者に対して十分な研修が行われ、公平な評価が実施されることを期待します。

「 評価の実施方法等 」に係る意見

- ・ 「基準を満たしていない」の判定は、具体的には評価担当者がチェックリストで客観的に判断するのは難しいと思うが、点数化するのか。

「 評価費用の徴収」に係る意見

- ・ 評価費用については予算計上のことがありますので早めに決定して戴きたい。いつ確定するのか。また、追評価の経費はどうなるのか。

「 変更の届け出」に係る意見

- ・ p 7 の評価後の「変更の届出」は、教育課程と教員組織だけとしてあるが、どういう趣旨か。

短期大学評価基準（機関別認証評価）（案）に対する意見

基準全体に係る意見

- ・ 教育を中心とした「チェックリスト」としては大変良く整理されていて問題は少ないと考えている。しかし、理想的な大学をイメージした「チェックリスト」と考えると、「研究」と「地域貢献」が抜けていて気がかりである。大学の使命は「教育」「研究」「地域貢献」の3本柱で成立しており、この3本柱がお互いに刺激しあって、理想的な大学となるのではないだろうか。それによって、教員の使命感も醸成され、大学の活性化も生まれてくるのではないだろうか。私短協の評価基準でも「研究」と「地域貢献」の項がもうけられているようなので、適切な時期に取り上げて下されば幸いです。「地域貢献」を選択的評価事項とした理由は何か。
- ・ 短期大学評価基準（案）の基本的な観点はよくわかりませんが、その基準はどの程度のレベルにすべきか、短期大学設置基準のレベルなのかまたは、高等教育機関としてのファーストステージとしての教育基準のレベルなのか等を明示してほしい。
- ・ 短期大学は、立地する都市の規模によって、教育内容にかなりの多様性が見出されると考えられ、その意味で選択的評価事項が設定されているのは適切である。ただ、「基本的な観点」の説明からすると、公開講座や施設利用の面の記述しか見られず、当該大学の卒業生が地域でどのような活動を行い評価されているのかの視点が記述されていない。中小都市に存立基盤を置く短大では、単に四年制大学より修業年限の短い高等教育機関として教育展開をすることではアドミッションに困難を来し、職業教育と密接な繋がりを保ちつつ、専門学校等との競合の中で地域のニーズに応えて行かなければならないところが多いと想像される。したがって、こうした意味での地域貢献を特色として強調できる選択的評価事項の内容設定が必要と考えられるが如何か？

各基準に係る意見

- ・ 「基本的な観点」の説明が、「～いるか」等になっているため、「基準」のような印象を与える。「基本的な観点」の設定趣旨に則り、
例えばp3であれば 1 - 1 - ……成果等の規定(記述)状況
1 - 1 - ……目的との適合状況
1 - 2 - ……周知状況
1 - 2 - ……公表の状況、 というように工夫してはどうか。
- ・ 「アドミッション・ポリシー」「ファカルティ・ディベロップメント」の如きカタカナ語は用いるべきではない。明確な概念を示す日本語に置き換えるべきである。
- ・ 高等教育機関としての短期大学評価として教育はもとより、研究及び社会活動を評価事項に取り入れていることは評価される。公立の場合、財務について、基本的な観点到1人当たり学生経費、1人当たり研究交付金などを入れてはどうか。
- ・ 「基準 研究目的の達成状況」を今後検討される際には次の点にご留意願いたい。本学は、造形、デザイン関係の学科を設置しており、教員の研究活動の成果としては、論文、学会発表のほか、制作や作品の出展、発表等が大きな割合を占めている。研究活動の評価については、この点も考慮のうえ、今後ご検討願いたい。